

研究分野
Department 先端ハード材料
Advanced Hard Materials

研究者
Researcher 関野 徹
T. Sekino

キーワード
Keyword ナノチューブ、ナノシート、高次機能触媒、エネルギー変換
nanotube, nanosheet, multifunctional catalyst, energy conversion

応用分野
Application 触媒（環境浄化、光、不均一系）、太陽電池、センサー、生体適合材料
catalyst (environmental/heterogeneous/photo), solar cell, sensor, biocompatible material

研究開発段階

基礎

実用化準備

応用化

背景

チタニア（酸化チタン）ナノチューブやナノシート材料は、酸化チタンが持つ光化学物性と低次元ナノ構造との相関により、優れた光触媒能や特異な選択的分子吸着能の共生など従来材料にない多機能性を示します。

概要・特徴

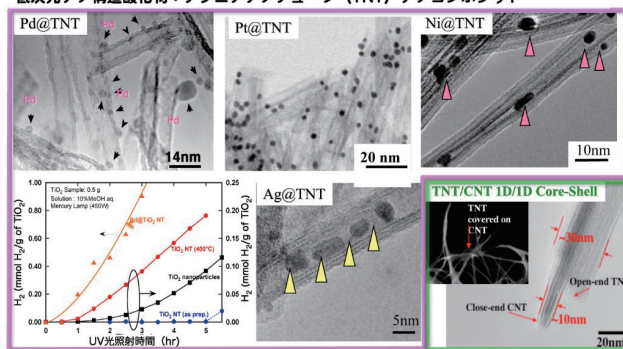
本研究では材料構造と機能の多角的なチューニングで、こうした高次機能を更に向上させ、次世代型の環境浄化機能材料、太陽電池やリチウムイオン電池電極、光および化学センサー、更には多機能型生体適合材料など、様々な応用展開・実用化を志向して研究を進めています。

チタニアナノチューブは通常の酸化チタンにはない優れた選択的分子・イオン吸着能と光触媒能を併せ持つ（能動型環境浄化機能）など、単材料でありながら物性-低次元構造協奏に基づく優れた多機能性を持ち、広範囲な環境およびエネルギー材料へと展開が可能です。

技術内容

ごく簡単に環境低負荷な溶液化学プロセスによりナノチューブ構造などの低次元ナノ構造を持つチタニアを高収率で合成することができるほか、金属表面などに直接形成も可能です。さらに、機能性元素固溶やナノ複合化・ハイブリッド化などの構造修飾を駆使し、物理的光化学的機能を更に向上させることができ、高効率の水分解水素発生光触媒や吸着・可視光応答光触媒特性の向上、太陽電池電極特性の向上、さらにはセンサー特性向上などが可能です。

低次元ナノ構造酸化物：チタニアナノチューブ (TNT) ナノコンポジット



社会への影響・期待される効果

- 環境浄化・エネルギー創製機能材料、高性能ガスセンサー材料としての展開
- 多機能性を同時に獲得した材料デバイスの創出
- 環境低負荷プロセスによる高機能材料製造

【論文 Paper】

- [1] ACS Appl. Nano Mater., 2 (2019) 6230.
- [2] Appl. Surf. Sci., 458 (2018) 523.
- [3] Nano Biomed., 8 (2016) 41.
- [4] J. Nanomater. 2015 (2015), Art. ID 358951.
- [5] Res. Chem. Intermed. 39 (2013) 1581.

【特許 Patent】

- [1] 特許第 4868366 号